

同志社大学大学院ビジネス研究科 「伝統産業グローバル革新塾」

京都の伝統産業集積地域に立地する同志社大学大学院ビジネス研究科（同志社ビジネススクール）は、2004年の開校以来、伝統産業に関する調査や公開講座を実施してきたが、このたび、文部科学省からの新たな助成を受け、伝統産業活性化に向けた経営者教育を本格展開する。

今回、文部科学省平成18年度「法科大学院等専門職大学院教育推進プログラム」に採択された「伝統産業グローバル革新塾」プロジェクトでは、21世紀に京都の伝統産業を担える人材を育成するために、ビジネス研究科の教員と、革新に取り組む伝統産業の経営者、アートプロデューサーなどの実務家が協力し合い、伝統産業をグローバル展開させるために必要となる革新的ビジネス手法を教える。授業による座学を通じた教育とともに、受講生のニーズに応じた個別指導による製品開発やマーケティングの手法なども教授し、低迷する京都の伝統産業の活性化をめざす。

本プロジェクトは、長い歴史を持つ京都文化をビジネスの視点から捉えている点に斬新さがある。伝統産業を中心とする文化ビジネスが核となり、文化を維持しつつもこれがビジネスとして成り立つことにより、グローバル化時代に京都が世界に誇れる文化都市として生き延びてゆく道を模索する狙いもある。

具体的なスケジュールは、2006年に人材の必要性に関する調査を行った後に、2007年1月開催予定の外部向け塾開校記念シンポジウムで教育内容の説明を行ない、その後にビジネス研究科内と一般の伝統産業界から塾生の募集を行う。そして、同年4月より、1年間にわたり、授業と個別指導の展開を行う。

なお、本プロジェクトに関する問い合わせは、同志社大学大学院ビジネス研究科伝統産業グローバル革新塾事務局（tel:075-251-4600, e-mail: ji-dbs@mail.doshisha.ac.jp）まで。

